

一中地区地域のふれあいを広める会

ふれあい

主な内容

- 第5回レッツ・ウォーキング 1P
- 館長就任挨拶 1P
- 総会報告 2P
- 1中地区コミュニティセンター管理運営に関する経費内訳 2P
- あれやこれや / 私のたのしみ 3P
- 心にある思い出 / 地域のわだい 3P
- わたしの散歩道 4P
- 部会だより / 編集後記 4P

●発行所／ひたちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者／大和田 敬治 ●編集／広報委員会

青空の下 海風を感じて歩いた 第5回レッツ・ウォーキング

5月13日、一中地区地域のふれあいを広める会による、ひたちなか海浜鉄道支援の「レッツ・ウォーキング」が開催されました。昨年は東日本大震災の影響により開催を見合わせたので、今回は2年ぶりです。

各自治会から参加した220人は、海浜鉄道を利用して阿字ヶ浦駅に集合。開会式で「おらが湊鉄道応援団」の歓迎を受けた後、国営ひたち海浜公園まで元氣よく歩きました。「みはらしの丘」は、ネモフィラの花が丘一面を埋め尽くしてブルー一色の世界。皆さん自由時間を十分楽しめました。



館長就任挨拶



大和田 敬治

(一中地区地域のふれあいを広める会会長)

1中地区コミュニティセンターの管理運営が、市から当ふれあいを広める会に移管されることを受けて、兼務で初代館長に就任いたしました。

地域住民の生涯学習や、交流の場・地域防災の拠点として利用しやすい施設とすべく、職員一同務めて参りますのでよろしくお願いいたします。きわめて短い準備期間でありましたが、本会役員・市関係職員のご支援・協力のもとに、新年度4月1日からスタートできましたことを心から感謝とお礼を申し上げます。

この度の運営管理は当市では初めてのことで、今後続く他地域へのモデルとなるべく先行実施したものであります。スタートしたばかりですが運営内容把握・規約規定の整備・管理方法などの改善をはかってまいりたいと考えています。利用者各位のご理解とお気付きの点などご提言をお願いいたします。

職員は7人で、週5日間は3人が交替勤務する体制を組み、受付案内など対応します。

職員の共通理念として報告・連絡・相談(ほつれんそう)の基本を遵守し、利用者に対し明るく丁寧な対応に務めてまいります。

会員皆様のご協力とご支援をお願いし就任のご挨拶いたします。



平成24年度 一中地区地域のふれあいを広める会

総 会 報 告

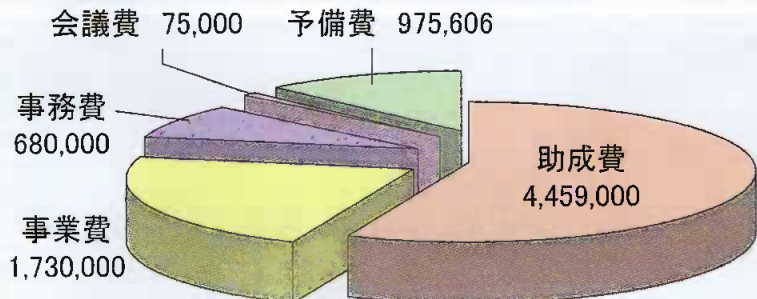
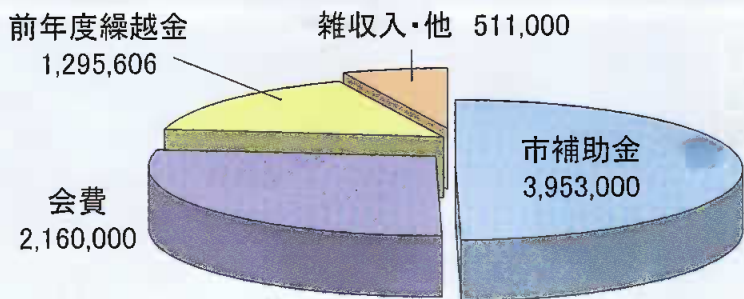
4月22日、市長はじめ多数の来賓を迎え、役員・代議員など101人が出席し平成24年度定期総会が1中地区コミュニティセンターで開催され、審議した議事はすべて原案通り可決された。また永年にわたりコミュニティ活動に貢献され退任された、副会長の寺山 一郎氏（中根自治会長）、理事の宮津 秀一氏（大平自治会長）および、地域活動に尽力された八代 正雄氏の3氏に感謝状が贈呈された。



歳入 7,919,606

平成24年度歳入・歳出予算 (単位:円)

歳出 7,919,606



一中地区地域のふれあいを広める会 (本会)

本会予算	¥3,460,606
11/10・11	コミュニティまつり
12/1	ひたちなか市コミュニティ組織連絡協議会
2/2	芸能音楽祭
随時	市民会議

会 長	大和田敬治	顧問	萩谷 寛・寺山 一郎
副会長	下村 修	事務局	川島 博・伊藤 昭子・菊池 喜代子
副会長	遠藤 良子	理 事	14自治会長・3委員長・6部会長
副会長	坂井 久彦	監 事	安 次男・大内 勝利

事 業	総会
4/22	第5回 レッツ・ウォーキング
5/13	一中地区秋季大運動会
10/7	理事視察研修
10/11・12	

地域部委員会 (14 自治会)

委員長	坂井 久彦	事業費	¥40,000
事 業	2月	講演会	委員会 随時
中根自治会	自治会長	山田 俊	
富士山自治会	〃	大島 吉美	
東中根団地自治会	〃	下村 修	
勝倉自治会	〃	住谷 勝巳	
金上自治会	〃	清水 進	
大平自治会	〃	権瓶 宏	
三反田自治会	〃	川内 勝夫	
勝田駅前南自治会	〃	尾曲 六郎	
西中根自治会	〃	重田 政之	
長堀松戸自治会	〃	七滝 健夫	
大成町自治会	〃	坂井 久彦	
青葉石川自治会	〃	清水 吉蔵	
笹野自治会	〃	原 健三	
薬師台自治会	〃	佐藤 定男	

実践部委員会 (6 部会)

委員長	遠藤 良子	事業費	¥80,000
事 業	5/13 第5回レッツ・ウォーキング (合同事業主催)		
	11月 講演会 (合同事業)		
体育部会	部会長	近藤 保夫	
文化部会	〃	盛口 祥子	
安全防災部会	〃	安 正機	
青少年部会	〃	岡田 栄子	
環境部会	〃	西野 治	
福祉部会	〃	遠藤 良子	

広報委員会

委員長	大関 清見	事業費	¥819,000
事 業	年3回広報紙 (ふれあい) 発行		
	9月 コミュニティまつりチラシ作成		

安全防災部会

事業費	¥285,000
7/3	視察研修
7月	交通事故防止啓発活動
8月	安全教室

青少年部会

事業費	¥1,325,000
7/7	親子クリーン作戦
7/12	少年の主張大会
7/28	三世代ふれあいチャレンジ教室
1/12	まゆ玉つくり
2/2	親子ふれあいスキー

文化部会

事業費	¥420,000
6/1	リーダー研修会
9月	講演会
10/10・11	コミュニティまつり展示・企画
2/2	芸能音楽祭

体育部会

事業費	¥715,000
4/15	第36回 ソフトボール大会
6/16・17	理事研修会
7/22	第2回 ヘルズバレーボール大会
9/2	第24回 ボウリング大会
10/20	第9回 三世代交流レクリエーション大会
2/10	第19回 インディアカ大会
2/10	第8回 ファミリーバトミントン大会
3/12	第14回 ゴルフ大会

福祉部会

事業費	¥330,000
6/10	子育てサロン (パパも参加)
6/15	視察研修
9/4	ふれあいの旅
月2回	特別養護老人ホーム「はまぎくの里」訪問
月1回	グループホーム「そよ風」訪問
月1回	子育てサロン ・金上自治会館 ・中根集落センター ・1中地区コミュニティセンター
適時	出前講座 (リハビリ・健康体操)

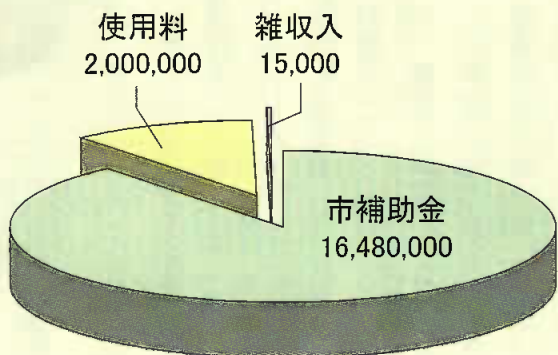
- ・自治会ごとの事業内容は、各自治会からの案内をご覧ください。
- ・各委員会・部会の事業費は本会からの助成費とその他の事業費を含めた総事業費を記載しています。

1 中地区コミュニティセンター管理運営に関する経費内訳

本年4月から1中地区コミュニティセンターの管理運営が、市から1中地区地域のふれあいを広める会に移管されました。円グラフでも明らかなように、平成24年度におけるセンターの管理運営に要する経費は、ほとんどが市からの補助金であり、センターの地域移管に伴う、地域住民の新たな費用負担はありません。なお、当面はセンターの利用料金や開館時間などはこれまでと変わりませんが、今後利用者の意見を聞き、より利用し易いセンター運営に努めていきます。

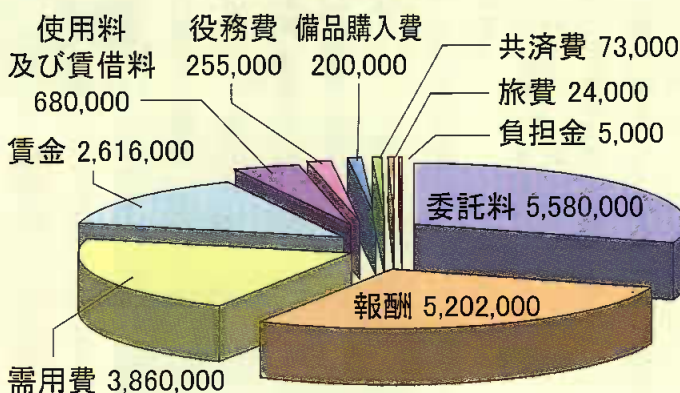
収入合計 18,495,000

収入予算



支出合計 18,495,000

支出予算



私のたのしみ

あそびクラフト



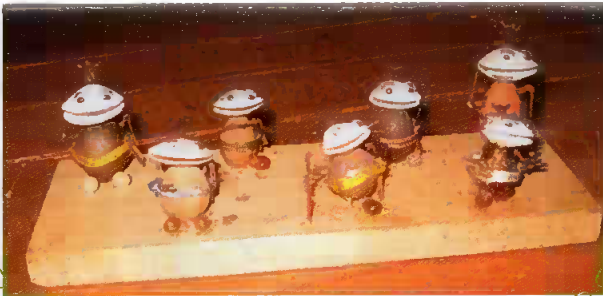
宮尾 次郎さん

物作りを楽しむ宮尾次郎さん(79)に、笹野のご自宅の仕事場でお話を伺いました。

機械設計の仕事をやっていた宮尾さんは、もともと物作りが好きだったので定年を迎えてから、パズルなど大人向けのおもちゃを作っていたそうです。たまたま「ひたちなか海浜公園」での工作教室の講師募集を知り引き受けたとか。2001年から4年間「流木クラフト工作教室」の講師を務め、子どもたちと様々な物を作ったそうです。この教室では、準備した流木・松ぼっくり・貝殻・小枝・繭など自然にある素材から、子どもたちが好きな材料を選び好きな物を作ります。「子どもの発想は豊かで、大人が考えつかないような物を作るんだ！そこからアイデアをもらって、どんどん僕のレパートリーが増えていった。かえって楽しませてもらいましたよ」と、嬉しそうに手作りおもちゃや置物を見せてくれました。

今ではご自分の活動を「あそびクラフト」と命名し、日立シビックセンターでの大道芸大会や笠間ハンドメイドフェアに出店したり、勝田駅前「ひたちなか・ま 多目的室」で工作教室を開いたり大活躍です。

「出店してももうけはないですよ。商売でやっているわけではないので高くはしないし、楽しみでやっているんです」「イベントに出るのは、アイデアを勉強するチャンス。楽しみです」と、そこには少年のような笑顔がありました。



マンション生活
青葉石川
年金余作
ペンネーム

《失ったもの》
朝の小鳥のさえずり、秋夜の虫の音、近所の生活音、隣の電話の音、西側の部屋に差し込む夕日、障子に映る風に揺らぐ小枝の影。ラジオの受信が出来なくなったのは予想外であった。夜中に目を覚まして聴く、ラジオ才深夜便の楽しみがなくなった。

《無くなって良かったもの》
足の水虫、40年来の疾患から解放された！つれあいの花粉症。ゴキブリ、ハエ、蚊などの不快昆虫。歳のせいかな、失ったものを懐かしむ心が強い。



健康体を保つ
金上自治会
廣瀬 陸城

多趣味な私は、定年後趣味を楽しむのは勿論ですが、これまでわがままに生活してこられた恩を、ほんの少しでも地域社会に貢献して行ければと考えておりました。

折しも昨年の2月に定年を迎えた直後にあの大地震に襲われ、早速災害ボランティア活動に参加しました。家財などが散乱している部屋で生活しているのを目の当たりにして、改めて健康の大切さを痛感しました。

長寿国の日本ですが、健康体での長寿かと思うといささか疑問を感じま



あれや・これや・...



す。ちまたには溢れんばかりの健康食品やサプリメントが目につきますが、体に陽を浴びて負荷を与えてこそ効果が発揮されると科学的にも論理づけられています。年齢とともに体力の低下は免れませんが、如何にそれを遅らせソフトランディングさせるかは努力次第で可能と考えます。

健康体を保つてできる限り迷惑を掛けないためにも、長年続けているジョギングをベースにいろいろな事に興味を持ってチャレンジして、少しでも人に喜ばれることをしよう！「あれやこれや」と思いを巡らせています。

心にのこる思い出



直井氏提供

半世紀前の
長堀地区の風景
長堀・松戸自治会
七滝 健夫

私がひたちなか市(当時は勝田町)に来たのは昭和二十九年であった。街の道路は砂利道で商店や人家もまばらだった。中丸川付近は夏、ほととの乱舞する田園で、長堀地区は日立工機の社宅と寮以外は松林と芋畑だったように記憶している。松戸町は枯松戸と呼ばれていた。

昭和32、33年頃だったか中丸川が氾濫して、長堀・松戸地区が孤立し、二日程街にも行けなかった事を思い出す。

地域のわだい

一中学区健康づくり歩く会

三反田地区

6月10日、一中学区保健推進員による歩く会が143人参加で行われました。初めに三反田小学校体育館で、講師の清野諭先生(筑波大学大学院 人間総合科学研究科 スポーツ医学専攻)の指導のもと、準備運動を行いウォーキングに出発。

さわやかな風の中、田植の済んだ田んぼ道を1時間20分かけて5キロ歩きました。体育館に戻りストレッチをして筋肉痛の予防・疲労の回復をはかり終了。

前日の雨からは考えられないほど天候に恵まれ、遠くに筑波山を見ながらの楽しい歩く会でした。



街路を明るく

西中根地区

6月10日、「西中根女性セミナー」22人によるフラワーロードの花植えが行われました。この会は、年2回前期はマリーゴールド・後期はパンジーとチューリップの球根を植えています。

20年位前、道路が広がり勝田病院がこの地に建てられました。会の代表伊藤昭子さんが、病院の入院患者がこの通りを散歩しているのを見て、「草まみれの植樹ますに花を植えて明るくしたい」と思ったとか。それから、この会で植えるようになったそうです。マリーゴールドが一番夏の暑さに強く長くきれいに咲くので、この通りの夏定番の花となりました。また「花と緑の環境美化コンクール」では、何回も最優秀賞を受賞しているそうです。

みんなで植えた黄色とオレンジ色のマリーゴールドの花が、今年の夏も歩行者の目を楽しませてくれることでしょう。



長堀小学校の田植え

長堀地区

寒暖の差が激しかった日も過ぎ夏らしい暑さになってきた6月4日、西中根の農家の皆さんの協力のもと、全校生徒657人が2時間半以上かけて田植えをしました。

1年生から6年生までが交代で田んぼに入り、泥に足を取られながらも楽しそうに苗を1つ2つと植えていました。米作りの経験は良い思い出になるでしょう。

子どもたちが植えた苗が夏の暑さと太陽の光を浴びてどんどん大きくなり、実りの秋を迎えるのが楽しみです。



わたしの散歩道

今回は、勝倉的那珂川沿いを紹介します。昭和61年の大洪水を教訓に造られた堤防遊歩道、枝川地区早戸川水門から勝田橋辺りまで2km弱を歩いてみると、悠々と流れる那珂川・対岸に見える水戸の景色・広々と広がる勝倉の水田などで心がなごみます。車をパーキングに停めて、歩いてみませんか。

那珂市から津田・市毛を通して流れる早戸川はここで那珂川に合流します。

昼間でも、1時間に上下合わせて10本以上の電車の通過が見られます。

堤防遊歩道で線路は渡れませんが、河川敷に下りると陸橋下を通る道があります。

桜川と那珂川の合流地点と、対岸の風景

那珂川グラウンドにはサッカー場4面と野球場3面があり、土日には利用者が賑わいます。

河川敷の小道を歩いて行くと、小さな船着場が現れます。このような箇所が両岸に数多く見られます。

早戸川水門
排水樋管 P
堤防
排水樋管
茨城ソフトメン
排水樋管
勝倉神社 P
常磐線
至水戸
至勝田
至金土

船着場
サッカー場 P
野球場
排水樋管
ひたちなか市那珂川グラウンド P
勝田橋
船着場
排水樋管
道明寺
セブンイレブン

珍しい木の葉をつける広葉杉が立っています。

現在の常磐線陸橋の北側に、レンガでできた古い陸橋跡があります。

江戸時代に造られ、那珂川上流からひかれた灌漑用水路

勝倉自衛隊下を流れる小場江用水から水路が通り、那珂川へ流れ込む地点には、逆流防止の水門が造られています。勝倉的那珂川沿いに、同様の排水樋管が5か所あります。

水子地藏や観世音菩薩などたくさんの仏像に癒されます。

昭和61年の大洪水により、現在地に移転されました。堤防側からも境内に入れます。

小場江用水

部会だより

環境部会

6月13日、地域美化運動の一環として、三世代交流による中根小学校花壇への花苗植えを行った。5年生の児童とPTA・高齢者クラブ・環境部会と合わせて120人がマリ・ゴールド・サルビア・ペゴニアの苗1600本を植えた。

今回は学校側の事前準備もあって、作業は1時間ほどで終了した。



安全防犯部会

7月3日、43人の参加を得、目黒防災センター（地震の学習館）にて研修を実施した。地震の際に予想される火災時の煙体確認。過去の大地震や地震発生時のメカニズムなどを学び参考になった。車中ではビデオ映像によるもっと減らせる交通事故・高齢者運転事故防止など安全運転の講座を行った。



文化部会

6月1日、リーダー研修会に40人参加で、千葉県佐倉市のD・C川村記念美術館へ行った。庭園内を散策した後、特別展示の「画家たちと旅する花の世界」フラワースケープ展」を見学。

帰りの車中では、郷土音楽芸能研究会による「ガマの油売り口上」など、各サークル（コミセン利用団体）紹介で大いに盛り上がり、楽しい一日となった。



青少年部会

7月12日、市文化会館にて、市内の中学校9校から12人の発表者が、学校や家庭など社会の中で感じ取っている問題をテーマに、堂々とした素晴らしい発表を行い、約1350人の聴衆に新たな感動を与えた。

また、アトラクションとして行われた、一中吹奏楽部による演奏と歌が会場を沸かせた。



福祉部会

6月15日、那珂市の「ナザレ園」と「ひたちなか・東海クリーンセンター」への視察研修を、部会員25人で実施した。

ナザレ園の盲養護老人ホームは県内唯一の施設で、現在70人が個室で生活している。

5月に開所したクリーンセンターは、最新鋭を誇る焼却力を持ち効率の良さを感した。



体育部会

結果報告
ソフトボール大会
4月15日、六ツ野グラウンド
参加 10チーム
優勝 富士山ストロング
準優勝 西中根
三位 三反田ソフト
ボール愛好会



編集後記

5月24日、新旧広報委員参加によるデジカメ撮影研修を実施。車中で旧広報委員により昨年の広報誌を教材にした写真撮影の講習を受けた。その後、会津若松市の鶴ヶ城・御薬園・七日町通りなど歴史やレトロな街並みを見学撮影を行った。

今年度の広報委員をお知らせします。

◎大関 清見 ◎伊藤 昇
◎横山 恵美子 橋本 賢三
菊地 恵子 磯 春雄
石田しのぶ 佐野 好
今井喜美子 齋藤 恵子
モニター
倉田 充弘 渡部 豪
大内まさ子

これからも、地域に密着した紙面作りに努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。